上水道•工業用水道編

編	章	節	条	枝番	エ		Ę	重	涯	則定	項	目	規格値
12 上					管	路	掘	削	基	準	高	∇	+0 -150mm
水道									幅			b	+150mm -0
・ エ					配			管	基	準	高	∇	+0 -150mm
業用									延			長	-1/500
水道									中 (心 心	線)	±100
編					砕 (栗	石 石	基	礎	厚			さ	-30mm
					•	クラ:	ッシャラ <u>/クリー</u> よ 削 エ		幅				-50mm
						き		工	基	準	高	∇	±30mm
					•				延			長	±1/500
				幅			b	-20mm					
									盲		さ	h	-20mm
					(: 曲		ィクリート 管 保		長		さ	L	-20mm
					μц	н		収支	幅			b	-20mm
									高		さ	h	-20mm
					弁			室	基	準	高	∇	± 30 mm
									※厚さ	30	cm 未	:満 t	-10mm
									すさ	30	cm 以	上t	-20mm
									*	高	さ	h	-30mm
									*	1	幅	b	-30mm
									*	内	径 ¬	ナ 法	+30mm

単位:mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
施工延長 50m につき 1 箇所の割合 及び I. Pごとに測定する。	D PRES	出来形管理 図表 (Ⅲ)、 (Ⅳ)
施工延長 50m につき 1 箇所の割合 及び I. Pごとに測定する。	中心線	竣工図を提出 A1版 出来形管理図 表(IV)、(VI) 曲線が多い場 合±200mm
延長 50m に 1 箇所 10m メッシュごとに		
施工延長 50m につき 1 箇所の割合で測定する。延長は各マンホール間を測定する。 巻立てコンクリート、基礎等は一般施工の管きょ工や基礎工に準じて測定する。	区間延延 区間延延	
構造図の寸法表現箇所を測定する。	h] L	
弁室ごとに図面表示箇所を測定する。 ※印は現場打部分のある場合	t h ₁ h ₂	

編	章	節	条	枝番	I			重	測	定	項	目	規	格	値
12 上					推	追	É	工	基	準	高	∇		±50m	m
水道									推	進	延	長	_	1/50	00
						水 場 E 要 樟		設)	基	準	高	∇		±20m	m
工業									厚 さ t			±20mm			
用水									幅			b	:	±30m	m
道編									高		さ	h	:	±50m	m
									延 :	長又	は	長さ	:	± 50m	m
									トラ	フ及堰	憂の基	準高▽	:	± 5m	m
					鋼	管	途	装	厚			み	内面	_	0
													外面	l	0
						多 <i>ダク</i> 鉄 管			胴	付 「	間 『	福 b	社) イル	及び母女等要領	[*] クタ 協会
					Ś	S・ ヺクタ 鉄 管	7 イカ	/		口面 での		白線 a		,,	
						多 ダ ク 鉄 管			胴作	寸間隔	ib 1,	b 2		"	

単位: mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
施工延長 50m につき 1 箇所の割合 で測定する。	管中心高	
各槽(池)ごとに測定する。 (1) 平面的表示 図面の主要なる寸法表示箇所(監督員の指示による)を測定する。 (2) 断面的表示 おおむね20mごとに縦断及び横断方向に基準側線を測定し、断面の主要寸法箇所(監督員の指示による)を測定する。	長さとは、主構造の全体にまたがらない 部分的な小水路等の長手方向の距離 をいう。	
鋼管現場溶接ヶ所において、内外面の 塗装厚さを測定する。内面については ϕ 800m/m以上、1リングにつき4方向	-	出来形管理 図表 (VII)、 (VIII) 管配置図及び 管体番号を記 入のこと
接合ヶ所1リングにつき4方向全数を測定する。	カーキング	出来形管理 図表 (IX)、 (X)
接合ヶ所1リングにつき4方向全数を測定する。	自線	″ 管配置図及び 管体番号を記 入のこと
接合ヶ所 φ 600m/m 以下は1 リングについて4 方向(b 1)を全数測定する接合ヶ所 φ 700m/m 以上は1 リングについて4 方向(b 2)を全数測定する。		n